

港南造形タイムズ

第47号

イタリア研修旅行報告

1月6日に関西国際空港からイタリアに向けて出発した研修旅行団27名(生徒25名、教員2名)が13日に元気に帰国しました。訪問地のローマ、フィレンツェ、サン・ジミ



ニャーノは、作品も、建物も、人までもが名作を生み出し、継承し、さらに新たな作品を創出する環境となっている街です。また、国立美術学校での交流や美術館巡りなどの研修プログラムは港南造形高校の海外研修旅行だからこそ経験できるものです。

この研修は、港南造形高校後援会のご支援でできた国際交流推進会とともに実施したものです。ここに感謝の意を表します。

今、日本に住んでいる私達が外国のことを知ろうとすると、その手段は主としてインターネットやテレビ、書籍などのメディアにかぎられてくることが多いです。しかし、それらのメディアから得られる知識や情報は、人間の五感によって得るものとはまったく別の次元にあり、質もまた異なると私は考えます。少なくとも、私が今まで知りたかった外国の空気や雰囲気は、メディアの類で知り得ることはできませんでした。ですから、今年度の海外研修に参加できると決まったときには、自分の知る世界が広がることに期待し、私は本当に嬉しく思いました。

現地では、かつて私がインターネットで目にした歴史ある建造物やテレビに映った美しい街並み、画集で眺めた類稀なる作品の数々を、自分の目で見ることができました。それだけでなく、普段の生活であまり馴染みのないイタリア語も聞くことができましたし、今まで口にした経験のなかったアンチョビを食べることもできました。

こうして私は現地でイタリアの風を感じながら、現地の文化、歴史、美術やそれに対する姿勢を学び、自分の世界を大きく広げることができたように思います。そして、これから歩む道のどこかに、今回の経験を活かす機会があるなら、そのチャンスは見逃さないようにしたいです。

最後に、私が今日も明日も無事学校に通うことができるのは、現地で私たちの安全を第一に考えてくださった松村先生に小林先生、添乗員を務めて下さった稲田さんのお陰です。そして、私に初めての海外旅行を体験させてくれた家族にも感謝しています。今回の海外研修を支えて下さったすべての方へ、本当にありがとうございました。

(2年生 池田彩乃)

府青少年読書感想画コンクールで 優秀賞・優良賞を受賞

第30回府青少年読書感想画コンクール（府学校図書館協議会主催）で、本校2年生の植田優芽さん（2年生）が優秀賞を、同じく2年生の財部栞さん、大山遥さん、樫原鈴奈さん、後藤真奈さん、西川風香さん、松本佳菜子さん、長田真子さん、秋山果穂さんが優良賞を受賞しました。

応募点数は1万7587点で、優秀賞16点、優良賞32点が選ばれました。

優秀賞は第24回読書感想画中央コンクール（全国校図書館協議会、毎日新聞社など主催）の中央審査に送られました。